

# 日本共産党 宇都宮市 議員団

# あなたの声を市政に ほっと らいん

# 6月議会報告 第72号

発行  
日本共産党宇都宮市議員団  
宇都宮市旭1丁目1-5  
電話 632-2622  
FAX 632-7753

# 市民の切実な願い届け！

# 天谷みえ子 議員が初質問



## 一般質問する天谷議員

家計消費は世帯あたり年25万円も落ち込み、働く人の実質賃金は年平均10万円も落ち込んでいる。このまま消費税10%への増税が10月から行われると家計には大きな負担になる。日本共産党第6回中央委員会総会が緊急の課題として発表した「暮らしに希望を・・・三つの提案」は、消費税に頼らずに7.5兆円の財源を生み出し、「①一日8時間働けばふ

2019年6月議会では天谷みえ子議員が一般質問にたちました。市長の政治姿勢については消費税10%への増税が市民に与える影響が懸念される今、公共施設使用料の値上げはすべきではないとせまりました。またJRTや北西部地域の図書館設置など市民の声を代弁して初質問を行いました。紙面の都合で一部を紹介します。（要旨）

ては「幼稚教育・保育の無償化や高等教育の無償化の実施」「年金生活者支援給付金の支給」等により子育て世帯や低所得の高齢者などの負担が軽減されるものと考えている。「公共施設の使用料」については消費税率の引き上げ時期にあわせ、適切に料金改定を実施してきたところであり、今回も同様の対応としている

つうに暮らせる社会をつくること。②暮らしを支える社会保障を築くこと。③お金の心配なく学び、子育てができる社会をつくること。提案している。市長は増税が市民生活に与える影響をどう考えているのか。

今回の議案に公共施設の使用料の値上げ案が盛り込まれているが、今の時点での使用料値上げは見送るべきではないか。

**消費増税前提の施設使用料  
値上げは中止を！**

現時点では計画していないが今後とも既存のネットワークにより生涯学習センター図書室を有効に活用しながら身近な図書館としてのサービス提供に努める。

## 北西部地域への図書館設置を

# ショートステイに入れない？特養ベッドへの転換はやめるべき!!

## 掲載できなかつた項目

- \* 国民健康保険について
- \* LRTについて
- \* 包括支援センターについて
- \* 生活交通の確保について

ショートステイのニーズを満たすとともに、転換の意向のあつた特別養護老人ホームに併設するショートステイ事業所ごとの稼働率を確認し、床数に余裕がある事業所を選定したうえで支障のない範囲として、85床を転換することとしたものであります。残り20床も本年度中に転換する予定としている。

しているのが実態 シヨート  
イのベッドからの転換をする  
ではないと思うが、201  
度はすでに65床の転換を実  
行している。計画では85床を予  
定しているが今年度残り20床を  
しようとしているのかを問

トステイではベッドを減らし特別養護老人ホームへの転換を行つてきていることがはつきりした。地域の居宅支援事業所から、これまでのようにはショートステイを取りなくて困っているという相談があり調べた結果「こり安心プラン」に盛り込まれている計画に沿った実施であるとのこと。現場では家族もケアマネージャーも大変な思いをしているのが実感。ショ

天谷みえ子議員は、質問に先立つて地域の居宅事業所との懇談を行いました。その中でケアマネージャーさんたから、ショートステイがなかなかとりにくくなつていて困っていると訴えられました。

1. 短期入所生活介護（ショートステイ）定員			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
短期入所定員	499	549	491
※定員は年度末（3月31日時点）			
2. 短期入所生活介護（ショートステイ）利用率			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
定員×年間日数	186,601	191,495	190,345
利用日数	126,703	128,386	130,313
利用率（%）	67.90	67.04	68.46

稼働率が低いところについて  
転換をしたということなのですが  
障がないように配慮しながらの  
実行である。

天谷議員再質問

